

特許による漢方薬の研究開発動向の分析と考察

Technology Forecasting of Traditional Chinese Medicine According to Patent

学籍番号：201121754

氏名：杜 莉

Li DU

世界経済のグローバリゼーションの進展に伴い、国家や企業の競争力の向上の必要性が叫ばれている現在、知的財産、特に知的財産のなかで最も重要な位置を占める特許は、ますます重要な存在になってきている。特許による研究開発の現状や動向などの分析を通じて、研究開発の時間短縮や、研究開発のコスト削減を図ることができる。特許の活用は国家と企業の競争力を向上させる重要な手段である。

一方、漢方薬は病気の治療や予防などの薬効があり、中国の医薬産業で重要な地位を占めている。また、日本、アメリカ、欧州など世界規模で、漢方薬は医薬産業の1分野として、発展してきている。中国は漢方薬を全世界に輸出しているが、漢方薬の生産、研究開発などは中国だけでなく、世界の医療産業にとって重要なものとなっている。

そのためにも、漢方薬の研究開発の現状を把握し、その動向を推測するとともに、知的財産保護の実態把握を行なうことが必要である。

本研究は、漢方薬の日韓欧米の出願件数、出願国別出願件数などの特許情報や学術論文の書誌事項について統計をとることによって、政策と市場動向を調査した。その結果による漢方薬の使用状況、研究開発の現状、出願状況、競合関係などをまとめ、世界における漢方薬の使用状況を明らかにした。また、特許戦略等を策定し、無駄な投資や研究開発を避けるとともに、有益な分野での研究促進するための基礎資料を提供した。そして、漢方薬に関する特許制度と政策について検証を行い、知的財産の保護を含む今後の研究開発等のあるべき姿を提案した。

研究指導教員：松縄 正登

副研究指導教員：岩澤 まり子